

八王子市市民活動支援センター令和6年度 事業報告

八王子市市民活動支援センター

■支援センター事業令和6年度を振り返って（概況）

令和5年度はコロナ禍の規制が解除され、センター内のコロナ対応も大幅に緩和されたこともあり、前年よりセンター利用が大きく増えました。令和6年度はその傾向が続きセンター利用も前年比横這いという結果です。コロナ禍に始めた事業も継続しています。人数を集めないように定員を絞り、その分回数を増やして「すぐに役立つ講座」として企画した支援講座は、センタースタッフが講師になることにより、参加者とも身近で、センターをより親しみやすいものと感じてもらうことが出来ています。

一日出張センターは、令和6年は西部、西南部、北部、東部地域と4か所に増やしました。より地域の連携や地域内の交流をはかることができました。

東京たま未来メッセでの開催も3回めとなった「はちおうじNPOフェスティバル」は、会場に「えきまえテラス」を加えて内部会場、外部会場二か所同時の開催となり沢山の来場者を迎え賑わいました。特に子どもも楽しめる体験やワークショップの出展を増やしたために、子どもや若い世代の入場者が例年より多かったと思います。未来を担う若い世代にも市民活動に興味をもってもらい、八王子づくりに参画してもらう契機になればと期待します。

八王子市市民活動支援センターのビジョンである「私たち一人ひとりがつながって、夢をカタチにできる八王子」の実現を目指して、スタッフ一同「社会課題と市民・団体の力をつなぎ、市民が社会貢献活動に参加し、NPO・市民活動団体がチカラを発揮できるよう、様々な事業に取り組みました。

1. 市民活動の促進のための施設の提供に関する事業

(1) 施設利用状況

上段:令和6年度、下段:令和5年度

交流室 (コマ)	活性化室 (コマ)	フリー スペース (人)	コピー 機 (件)	印刷機 (件)	面談 相談 (件)	来所 他 (人)	電話 相談	電話 他	メール 相談
812	823	2004	406	57	122	275	43	1093	0
857	816	1497	193	59	177	333	57	1132	1

令和6年度から活性化室もセンターカウントとなりました。コロナ感染症対策が解除された令和5年度は大幅に利用数が増えましたが、6年度は若干減少しました。しかし、フリースペースの利用は大きく増えました。コロナも収束し、滞留に抵抗がなくなったことが影響していると思われます。来所者数については、フリースペース利用者、会議室利用者、相談者以外の方ということでカウント方法が定着していないため、実数をだすことが難しいと感じています。

課題としては、相変わらず17時からの夜間時間帯の利用率が少ないことですが、この時間帯に学生や現役世代向けのセンターイベントを予定するなど、利用率向上を講じていきたいと思っています。

会議室利用状況（年間）

月	月開館 日数 (A)	利用可 能 会議室 こま数 (B)	セン ター 無利用 日数 (D)	実利用 日数 (E =A-D)	利用 日数率 (E/A)	全体（交流と活性化の合計）				交流スペース				活性化スペース			
						実利用 会議室 こま数 (C)	会議室 利用率 (C/B)	利用 団体数	利用者 数	実利用 会議室 こま数 (C1)	会議室 利用率 (C1/B)	利用 団体数	利用者 数	実利用 会議室 こま数 (C2)	会議室 利用率 (C2/B)	利用 団体数	利用者 数
4月度	25	230	0	25	100.0%	132	57.4%	66	1061	71	61.7%	37	500	61	53.0%	29	561
5月度	27	242	2	25	92.6%	130	53.7%	64	942	62	51.2%	35	493	68	56.2%	29	449
6月度	26	240	0	26	100.0%	143	59.6%	77	1003	76	63.3%	41	541	67	55.8%	36	462
7月度	26	240	1	25	96.2%	138	57.5%	65	958	76	63.3%	35	575	62	51.7%	30	383
8月度	27	250	2	25	92.6%	126	50.4%	66	831	64	51.2%	35	450	62	49.6%	31	381
9月度	25	222	0	25	100.0%	144	64.9%	75	1025	70	63.1%	41	504	74	66.7%	34	521
10月度	27	250	1	26	96.3%	158	63.2%	78	1043	76	60.8%	39	539	82	65.6%	39	504
11月度	26	236	0	26	100.0%	144	61.0%	69	1013	75	63.6%	39	497	69	58.5%	30	516
12月度	24	224	0	24	100.0%	124	55.4%	62	887	60	53.6%	33	408	64	57.1%	29	479
1月度	24	220	1	23	95.8%	125	56.8%	34	861	56	50.9%	34	408	69	62.7%	34	453
2月度	24	216	0	24	100.0%	137	63.4%	65	985	62	57.4%	32	457	75	69.4%	33	528
3月度	26	236	1	25	96.2%	134	56.8%	71	511	64	54.2%	37		70	59.3%	34	563
計	307	2806	8	299	97.4%	1635	58.3%	792	11120	812	57.9%	438	5372	823	58.7%	388	5800

会議室利用状況（曜日別）

区分	全体計（交流スペースと活性化スペースの合計値）																						
	月			火			水			木			金			土			日			全曜日小計	
月	利用 こま数	利用可 能 こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能 こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能 こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能 こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能 こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能 こま数	利用率	利用 こま数	利用可 能 こま数	利用率	利用こ ま数小 計	利用可 能こ ま数小 計
4月度	6	6	100.0%	21	40	52.5%	27	40	67.5%	16	40	40.0%	22	40	55.0%	25	40	62.5%	15	24	62.5%	132	230
5月度	2	6	33.3%	19	30	63.3%	26	50	52.0%	21	50	42.0%	25	46	54.3%	24	36	66.7%	13	24	54.2%	130	242
6月度	0	0	0.0%	22	40	55.0%	31	40	77.5%	13	40	32.5%	19	40	47.5%	32	50	64.0%	26	30	86.7%	143	240
7月度	5	6	83.3%	17	40	42.5%	33	50	66.0%	16	40	40.0%	22	40	55.0%	27	40	67.5%	18	24	75.0%	138	240
8月度	0	6	0.0%	21	30	70.0%	25	40	62.5%	19	50	38.0%	20	50	40.0%	24	50	48.0%	17	24	70.8%	126	250
9月度	7	12	58.3%	17	20	85.0%	33	40	82.5%	23	40	57.5%	19	40	47.5%	26	40	65.0%	19	30	63.3%	144	222
10月度	0	6	0.0%	35	40	87.5%	36	50	72.0%	18	50	36.0%	21	40	52.5%	28	40	70.0%	19	24	79.2%	157	250
11月度	4	6	66.7%	26	30	86.7%	33	40	82.5%	15	40	37.5%	23	50	46.0%	27	46	58.7%	16	24	66.7%	144	236
12月度	0	0	0.0%	30	40	75.0%	22	40	55.0%	19	40	47.5%	13	40	32.5%	26	40	65.0%	14	24	58.3%	124	224
1月度	4	6	66.7%	17	30	56.7%	26	40	65.0%	18	40	45.0%	24	40	60.0%	25	40	62.5%	11	24	45.8%	125	220
2月度	4	6	66.7%	20	26	76.9%	22	40	55.0%	37	40	92.5%	25	40	62.5%	23	40	57.5%	16	24	66.7%	147	216
3月度	0	0	0.0%	29	40	72.5%	21	40	52.5%	20	36	55.6%	17	40	42.5%	32	50	64.0%	15	30	50.0%	134	236
計	32	60	53.3%	274	406	67.5%	335	510	65.7%	235	506	46.4%	250	506	49.4%	319	512	62.3%	199	306	65.0%	####	####

（２）市民活動を支援する環境づくり

市民活動団体の情報を取りやすくするために、チラシラックやカウンターラックを整えると同時に、自由に情報を検索できるようにするため、フリースペース内に貸し出しパソコンを設置しています。フリースペースに関しては狭い室内を広く感じられるように、整理整頓を心がけています。今まで手書きだった会議室利用団体の表示をデジタルにして、ホームページから会議室を予約できるようにしました。

【課題と評価】

利用者満足度調査の結果として、センター利用の多くは会議室利用ですが会議室・フリースペース利用の満足度は今年も94%、98.4%と高い評価を受けました。特に嬉しいことは、スタッフの対応への満足度が99.6%ということです。一方で、インターネット環境が不安定との設備面での指摘がありました。全体としての満足度も98.8%と高い評価です。今後も利用する方々に、満足してもらえるセンター環境をつくるとともに、職員も引き続き市民活動支援をするために必要な能力や経験を研鑽していき、適切な対応に備えていきます。

2. 市民活動を行う者、市民、事業者、市及び地域の相互の連携並びに交流の促進に関する事業（地域・団体連携交流事業）

（１） はちおうじNPOフェスティバル

八王子で活動する NPO を紹介・発信して八王子の市民活動を知ってもらおうと同時に、市民との交流の場として多くの市民に市民活動に興味をもってもらい、市民活動のすそ野が広がるように毎年開催しています。

日時	テーマ・内 容	参加者	会 場
10月6日 (土) 10:30～ 16:30	はちおうじNPO フェスティバル2024 ～八王子で活躍する市民活動団体が大集合！～ ・展示 ・アクティビティ・体験（ワークショップ） ・物販 ・フードトラック ・ステージパフォーマンス （屋内ステージ、屋外ステージ） ・ホワイエでの情報展示	・ブース出展 46 団体 ・体験・アク ティビティ 9 団体 ・ステージ 屋内7 団体 屋外9 団体 来場者 約2000名 ボランティア 80 名 内学生 64 名	・東京たま未来メッセ 展示場（A～D） ・えきまえテラス

【課題と評価】

3 回目となる「東京たま未来メッセ」に加えて今回は「えきまえテラス」も会場に加えて開催しました。東京たま未来メッセのガラス戸を全開放してえきまえテラスと一体となった会場は、外からの人の流れを作り、出展者、来場者ともに好評で、関係者含め2000名以上の参加者で賑わいました。昨年の反省を踏まえ、

①今回は子どもにも楽しんでもらえるように、体験型、アクティビティ型のスペースを新設し、参加型のブースを増やしたことにより、子どもや若い世代の参加者が増えました。

②毎年課題として出ていた「ステージ音響がうるさい」という問題には、今回は音のでるステージ演目はえきまえテラスの外ステージで行い、屋内ステージでは音が大きくない演目だけにすることで解消しました。

③屋外ステージの様子を屋内の大スクリーンに映し出し、ステージ様子を屋内からも見れるようにしました。これは東京工科大学の学生のボランティアの協力で可能になりました。大学との連携が定着してきたと言えます。

課題としては

①参加団体が多いため、個別の連絡事項が多くなり事務的な負担が大きい。2025 年度はもう少し簡略化できないかを検討します。一方で、2022 年度から「東京たま未来メッセ」で開催しているが、これが定着して、各団体もこの大きな会場での開催を楽しみにしていることで、出来るだけこれに添えてあげるように、次回に向けて参加団体、来場者とも、より満足度の高い NPO フェスティ

バルになるように企画したいと思います。

NPO フェスティバルの名前のとおり、NPO（市民活動）団体のお祭りとして、団体も市民もともに一日楽しんで交流できた会となりました。八王子市内の市民活動の大きな発信になったと思います。また、多くの学生ボランティアが参加し手伝ってくれたことは、若い世代に市民活動に興味をもってもらう契機になりました。（参照：別紙添付 NPO フェスティバルアンケート集計結果）

（２） 交流会

協働の場づくりのための市民活動団体の交流会は、団体同士の横の連携だけでなく、行政や公共的性質を持った組織にも呼び掛け、興味のある市民も募り、テーマ別・分野別等の様々な視点から開催しています。

日程	テーマ・内容	定員	会場	担当
7月7日 (日)	「子育てをみんなで支えるまちづくり」交流会 テーマ：子どもの居場所づくり	30名 30名	学園都市センター 第1 セミナー室	力石
2月9日	NPO 八王子会議と合わせて同時に開催 テーマ：協力の作法	50名 65名	オープンイノベーションフィールド多摩 2F 会議室	力石 岡崎 濱野

【課題と評価】

・2024年7月7日「子育てをみんなで支えるまちづくり」交流会

前半に子どもの居場所を提供している「まほうのほうき」（駄菓子屋・遊び場・子ども食堂）、「NPO 法人かたつむり」（発達障がいの子どもの子育てのピアサポート）と一般社団法人八王子冒険遊び場の会（プレーパーク運営）がそれぞれの活動と子どもの居場所の必要性について話してもらった。後半はグループディスカッションで、「地域子育ての課題や子育て支援団体の課題」解決のための意見交換会を実施し、解決につながる案・アイデア又はそのリストにない課題提出を行った。

- ・発達障がいの疑いの子どもの持つ母親2名をNPO 法人かたつむりにつないだ。
- ・場所提供したい方と活動場所を探している方をつないだ。
- ・ボランティアをはじめたい3名を参加団体に紹介し、後日見学することとなった。
- ・活動するにあたり、つながりたい団体と話ができ、連携の可能性ができた（4団体）。
- ・参加者の中で参加後、団体を立ち上げることを検討すると答えた方が2名がいた。
- ・課題である資金調達で助成金と寄付の他、あらたな取り組みを紹介した方がいて、参考になった。

参加者からは、分野を超えた意見交換の場は少なく、「テーマ」（課題等）に沿った交流会は意見交換とつながりのきっかけとなっていて、開催要望が多い。また、既に活動している人に加えて、テーマに興味がある市民やこれから活動したい方々も参加して、多世代多分野の意見交換会となっている。交流会をきっかけに団体設立した方、参加した団体に入会した方、連携して活動を始めた団体もある。

（３）センター１日出張

市民活動のより一層の広がりや市民活動支援センターの周知を目的とし、中央地域以外で１日出張を実施し、市内の様々なところで活動する団体へセンターの周知と市民活動の掘り起こしを行っています。

日程	地域	内容
５月９日	西部地域	センター紹介・センター業務・はちコミねっと・ファンド・地域交流会
９月１４日	北部地域	センター紹介・センター業務・はちコミねっと・ファンド・地域交流会
１２月７日	西南部地域	センター紹介・センター業務・はちコミねっと・ファンド・地域交流会
３月２２日	東部地域	センター紹介・センター業務・はちコミねっと・ファンド・地域交流会

・５月９日：西部地域

川口市民センター多目的室で実施。１５名が参加。はちまるサポート川口、川口生涯学習センター、はちせい、１０団体と一般参加２名。一般参加の１名は町会関係者で、今後のことについて相談を受けた。

はちコミねっと対応２件、ファンド対応１件（プロボノ案件）、相談４件、宣誓書提出２枚、NPO フェスティバル申込１団体、講座申込２名。交流会参加は１２名＋スタッフ。

場所提供したい団体と活動の場を探している２団体をつなぐことができた。また、交流会で知り合った２団体は同じ元八王子町で活動していて、協力することとなった。

はちまるサポートとはちせいの方は福祉関係の団体と意見交換ができ、知らなかったところとつながり、今後連携を検討することとなった。

日本語教師の方２名・外国人支援者３名がいて、外国人支援について情報共有と意見交換ができた。不登校支援の団体が課題提供し、３団体と協力することとなった。

・９月１４日：北部地域

道の駅八王子滝山の会議室で実施。午前午後合計２７名が参加した。道の駅のスタッフがとても協力的で、会議室外でも案内を置くことができ、一般人の参加につながり、センターの紹介もできた。

午前中に９名からの相談があった：ボランティア始めたい方３名、活動団体立ち上げを検討している団体２名、子ども支援団体を知りたい方２名、NPO フェスティバルについて教えてほしい方１名、地域で活動して、課題を感じている団体（センター未登録団体）の相談となった。高齢者あんしん相談センターの方も参加し、１団体とつながることができた。午後に、活動の周知についての相談を２件、人材不足相談２件を受けた。

午後の交流会には１４名（７団体・一般の方１名・町会１名）＋スタッフが参加。午前中と交流会で下記の課題が出た：①北部地域でアクセスの良い活動場所に限りがある（多数）；②活動にあたり、機材等の保管場所に困っている；③市民活動やボランティア活動に興味があっても、情報が少ない（多数）；④資金調達に困っている；⑤メンバー不足・高齢化が進んでいる（多数）；⑥活動の周知が上手くできていない；⑦活動はじめたいが、どうしたらいいかわからない。

情報やメンバー募集については、「はちコミねっと」の活用、募集チラシ作成、広報はちおうじや SNS 等で仲間募集掲載・確認、センターおよびボランティアセンターで情報収集をアドバイス。

資金調達に関しては、助成金、クラウドファンディング、会員制度や寄付を軽く説明し、「はちコミねっと」でも助成金・補助金の情報が確認できることを伝えた。

活動をはじめたいが、どうしたらいいかわからない相談に対して、NPO マニュアルを使い、団体設立等を説明した。1 名はすぐに書類を作成し、団体登録申請をした。

長年地域に住んでいるにも関わらず、お互いの活動を知らなかったことがあり、今回の交流会に参加し、地域内の交流が必要だと数名から声をいただいた。

参加者がお互いの活動を知ることができ、最近の状況・課題・成果などの情報を共有し、連携の可能性について話し合うことができ、とても有意義な時間だった。今回確認できた課題の中で解決に向けて、センターやプロボノがサポートできる部分について話させていただいた。

後日、保全関係の 2 つの団体（北部地区環境市民会議と緑サポート八王子）がもう一つの団体（滝山城跡群・歴史と自然を守る会）を訪ね、コラボすることとなった。

竹紙研究会は加住地域の学校でその過程を紹介することとなった。

新しい団体が誕生し、毎月活動していることの報告を受けた。

メンバー募集したい 2 団体は 3 月開催の「地域デビューパーティー802」に参加することとなり、見学等の依頼があったと報告を受けた。

・12月7日：西南部地域

東浅川保健福祉センターの集会室で実施。

午前中に 2 つの団体が来所し、個別相談（団体運営・センター新規登録・広報について）に対応。一般市民の方は地域で活動されている団体の情報収集のために来所し、ボランティア活動を始めたい方の相談もあった。「はちコミねっと」を通して、いくつかの団体を紹介した。

午後には、個別相談（団体運営・ゆめおりファンド）対応後、地域交流会を開催しました。8 つの市民活動団体、これから団体を立ち上げたい方、一般市民の方と自治会／町会の方が参加していただきました。

交流会では、先ず参加者の皆さまに自己紹介・活動紹介をしていただきました。参加者のほとんどが初顔合わせで、同じ地域で活動していても、中々交流し、話し合う機会はないと伺った。情報や課題の共有ができ、話が途切れることなく、多数連携（コラボ企画やサポート）の可能性も生まれた。交流会後、個々での話が続いた。

・「はちコミねっと」で非公開となっている団体も参加し、登録の更新等を次年度までする予定。

・高齢化が進んでいる地域で活動している団体は、参加した 3 つの団体と今後も話し合い、コラボの可能性を検討する。

・高齢者の多い町会の方は 2 団体に相談し、1 団体と健康維持プログラムを検討している。

・場所を提供できる団体が 2 団体とコラボの可能性を検討。

・居場所提供している団体が 3 団体と共同企画の可能性を検討することとなった。

・高尾で活動している子育て支援団体がまだセンター未登録で、会則を作成したら、登録する予定。

・3月22日：東部地域

南大沢市民センターの会議室で実施。

午前中に 2 つの団体が来所。1 団体はセンター未登録で、後日登録いただいた。2 名が来場し、1 名は情報収集のため、もう 1 名はこれから地域で活動したいため相談した。相談の結果、近いうちに任意団体を設立し、センターに登録する予定。プロボノワーカーへの登録も検討。

午後には、宣誓書未提出だった団体の相談に対応し、登録内容確認後、宣誓書を提出いただき、「は

ちコミねっと」で公開となった。

その後、地域交流会を開催した。

10名（4つの市民活動団体、学運協関係者、地域活動に興味がある一般市民の方々）が参加。

交流会では、自己紹介・活動紹介/興味がある活動分野などの話をしていただいた。参加者のほとんどが初顔合わせで、同じ地域にいても、中々交流し、話し合う機会はないと伺った。情報や課題の共有ができ、話が途切れることなく、連携(コラボ企画やサポート)の可能性もあった。

市民の方が活動のため団体を立ち上げることを検討し、参加者が意見やコラボの可能性について話し合った。学運協の方に竹紙研究会の代表が体験の可能性についてたずね、今後学校での体験が可能かどうか確認することとなった。意見交換会は17:00直前まで続き、多くの情報共有ができた有意義な時間となった。

東部地域は中央地域へのアクセスは少々面倒で、情報も中々得られない、地域間の連携もしたいが難しいと感じている団体がいた。地域間交流ができる方法を考えたい。

交流会に出席した一般市民の方が後日センターを訪ね、興味がある分野の団体紹介とその地域で活動している団体を紹介し、既に2か所を見学し、1か所の手伝いを決めたと報告があった。

【課題と評価】

4つの地域で1日出張を実施し、午後に地域交流会を取り入れたことで、より多くの方が参加いただき、情報共有や連携のきっかけとなった。

4つの地域の特徴と課題も異なるが、参加していただいた団体が課題と感じていることの一部分が重なっていた：①高齢化；②人材不足；③資金不足；④広報の力不足。資金不足についての情報・アドバイスと広報についてのアドバイス等ができたが、①と②簡単に解決する課題ではない。

・実施して気付いた課題：

1 団体に解決できないことが多く、連携の必要性を感じているが、相手を見つけることが難しい。一般市民に活動を知ってほしいが、PRは上手くいかないなど、地域内・外の情報発信や情報共有が上手くいかず、困っている団体も多数。

横に広い北部地域、縦に広い西南部地域、電車が無い西部地域での地域全体の情報共有や連携は難しく、地域の中でもっと小さなエリアでないと、継続的なコラボが難しいと参加者が感じていた。場合により、ピンポイントで地域外の団体と連携することから始めれば良いという意見もあった。毎回実施する前にその地域で活動している団体・NPO法人・施設等に周知や招待を送っているため、徐々に参加者が増えているが、1日に限定のため、来られない団体からまた実施してほしいと依頼がある。

・実施した成果：

団体と団体の横のつながりの強化、連携のきっかけとなった。その場の成果に加え、実施後の連携報告等もあり、地域交流会を取り入れてからより多くの方々への周知、団体相談対応の増加、新団体の誕生、地域内でのコラボの誕生などの確認ができた。センターの周知もでき、相談等に繋がった。2025年度に同じスタイルで実施し、より多くの方々が気軽に参加でき、つながりと連携の輪を拡大できるようにしたいと思う。

(4) NPO 八王子会議

日時	テーマ・内容	参加者	会場
2025 年 2月9日 (日) 14:00～ 17:30	協力の作法 ～私たちはこんなことでこまっている！誰か協力して！ ・第1部： ① 「はちコミねっと」の活用の仕方 ② 八王子市市民企画事業補助金案内 ③ パネルディスカッション （近隣市の中間支援・企業と地域・NPO を広げるため） ④ 団体からの発表（視覚障がいサポート団体 FANeyes と 大きなくりの木のしたで） ・第2部：交流会：テーマ別6テーブル （仲間を増やす・活動資金を得る・情報配信/広報・多様なセクターと協力・地域内連携・フリー）に分かれ、話し合い。その後、各テーブルのホストが発表。 まとめ：松原明氏 ・第3部：八王子市民活動協議会による懇親会 （17:45～）	一般65 （登壇者 7含む） スタッフ 10 計75名	オープンイノベー ションフィールド 多摩2F 会議室

【課題と評価】

- ・当初 50 名程度の参加者を予定していたが、参加希望者が増え、最終的にスタッフ含め 75 名の参加となった。急遽会場を変更したり、グループワークのための島の数を増やすなどの対応に追われ、嬉しい誤算ではあるが会場選びなど、今後の課題となった。
- ・多様なプログラムで、時間が長い割には参加者を飽きさせない、時間があっという間だったとの感想が多かった。
- ・グループワークでも活気ある議論ができて、時間が足りなかったとの感想が多かった。
- ・反面、もう少しテーマを絞り、じっくりと議論できるようにすることも必要だったと思う。
- ・テーマ別グループワーク（交流会）では、ゲストに迎えたファシリテーターの手腕で、各グループともに満足の高いワークになったようだ。
- ・スタッフのファシリテート力、コーディネート力の一層の向上を図るために、今後は外部研修の活用などを考えたい。

3. 市民活動に係る情報の収集及び提供に関する事業

(1) 広報紙「SUPPORT802」について

本年度制作した広報紙の概要は以下の通りです。

発行号数	発行日	特集記事【取材団体】	発行部数
第 120 号	令和 6 年 5 月	地域コミュニティを巻き込む公園運営 特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池	3,500 部

第 121 号	令和 6 年 7 月	支援センターで皆さん こんなことをしています！	3,000 部
第 122 号	令和 6 年 9 月	スポーツでコミュニケーション 豊かな共生社会を目 指して	3,000 部
第 123 号	令和 6 年 11 月	はちおうじ NPO フェスティバル 2024 報告	3,000 部
第 124 号	令和 7 年 1 月	2025 謹賀新年 登録団体の本年のスローガンや活動予定のお知らせ	3,000 部
第 125 号	令和 7 年 3 月	誰にでもやさしい環境をつくりたい 視覚障がいサポート団体 FANeyes	3,000 部

主な配布先：センター登録団体、協議会会員、八王子市関係所管、市内公共施設、市内郵便局、中間支援団体、八王子市商工会議所、八王子まち・なか休憩所、市内 NPO 団体、配布希望町会・自治会、配布希望大学、その他（八王子センター元気、八王子市レクリエーション協会、紙面掲載団体）市内イトーヨーカドー

【課題と評価】

令和 6 年度広報での特集をワードで表すと「つなげる」となります。地域コミュニティを巻き込んだ公園運営団体やスポーツで人のつながりをつくる新しい団体を紹介。市民活動支援センター利用を推進したり NPO フェスティバルに参加した団体の活動の楽しい様子や各団体の活動予定を紹介し他の団体にも興味を持って頂けるよう工夫しました。3 月は視覚障がいサポート団体取材し団体立ち上げからの歩みの特集しました。特集した団体には喜んで頂けましたが、広報紙を楽しみに待っているといわれるように、活字では伝えきれない情報や活動を二次元コードで載せ、動画で見ていただくことも工夫していきたいと思います。

（２）メールマガジン「SUPPORT802 だより」

本年度発信したメールマガジンは以下の通りです。

号数	配信日	主な内容
No.183	4/10	*巻頭言：桜花の候・・・「明けない夜はない」「終わらない冬はない」 *新センタースタッフ紹介 *「はちコミねっと」基本講習会・個別相談会 *1 日出張 in 西部地域 *支援講座：機材活用ノウハウ講座
No.184	5/7	*巻頭言：新緑がまぶしい 5 月・・・当センターにいらしてください *「はちコミねっと」基本講習会・個別相談会 ほか *第 202 回アクティブ市民塾：「お腹と心があったまる場所子ども食堂カフェ北野に行こう」
No.185	6/7	*巻頭言：センターのインテリアを変えました。センターをどうぞご利用ください。 *「はちコミねっと」基本講習会・個別相談会 *交流会「子育てをみんなで支えるまちづくり」
No.186	7/7	*巻頭言：7 月に交流会・実践講座など。夏休み企画・自由研究に役立ちます。 *第 203 回アクティブ市民塾：「楽しいワークショップで国際理解を深めよう！」 *実践講座：「いまさら聞けない地球温暖化」*支援講座：「イベントでの効果的な展示・・・」

		*第 204 回アクティブ市民塾「八王子の農地を守る NPO 法人すずしろ 22 の取り組み・ *八王子 NPO パワーアップ講座 2024 全 6 回
No.187	8/1	*巻頭言：Web で会議室予約ができるようになります。 *はちおうじ NPO フェスティバル～ボランティア大募集～ *八王子 NPO パワーアップ講座 2024 全 6 回
No.188	9/4	*巻頭言：センター新スタッフご挨拶 *いよいよ開催！「はちおうじ NPO フェスティバル 2024」～ボランティア大募集～ *センター1 日出張 in 北部地域 *支援講座：「市民活動団体向けプロボノ活用講座」 *八王子 NPO パワーアップ講座 2024
No.189	10/5	*巻頭言：NPO フェスティバル「えきまえテラス」も会場に。58 団体が参加予定！ *「はちコミねっと」個別講習 ほか *支援講座：「Google ドライブを活用しよう」 *八王子 NPO パワーアップ講座 2024 第 3 回
No.190	11/1	*巻頭言：「八王子いちよう祭り、F 会場」でお待ちしています。 *センター1 日出張 in 西南部地域 *八王子 NPO パワーアップ講座 2024 第 4 回 ほか *第 205 回アクティブ市民塾「しめ飾り講習会」
No.191	12/1	*巻頭言：2024 年もわすかとなりました。ブラジルのクリスマスでは・・・ *センター1 日出張 in 西南部地域 *八王子 NPO パワーアップ講座 2024 第 5 回
No.192	1/1	*巻頭言：市民活動のチカラを発揮するには・・・「共感」を得、「信頼、信用」で「協力」を。 *八王子 NPO パワーアップ講座 2024 第 6 回 *第 206 回アクティブ市民塾「ゆる～い空手で楽しく健康増進」 *第 11 回 NPO 八王子会議&市民活動交流会 *センター1 日出張 in 東部地域
No.193	2/1	*巻頭言：「NPO 八王子会議&市民活動交流会」へ、ぜひ、ご参加ください。 *第 11 回 NPO 八王子会議&市民活動交流会 *第 207 回アクティブ市民塾「学ぶ！遊ぶ！伝承玩具で心も身体も活性化」
No.194	3/5	*巻頭 *巻頭言：啓蟄（けいちつ）は二十四節気の一つ。・・・ *「はちコミねっと」基本講習会・個別相談会 *「はちおうじ NPO フェスティバル 2025」8 月 24 日開催決定 *センターフロアー内の団体向けロッカー令和 7 年度利用団体募集！ *相談業務*助成金情報 ほか

【評価と課題】

メルマガはほとんど月一第 1 週までには発信出来ました。

来年度も引き続き第 1 週までに発信していきたいと思ひます。

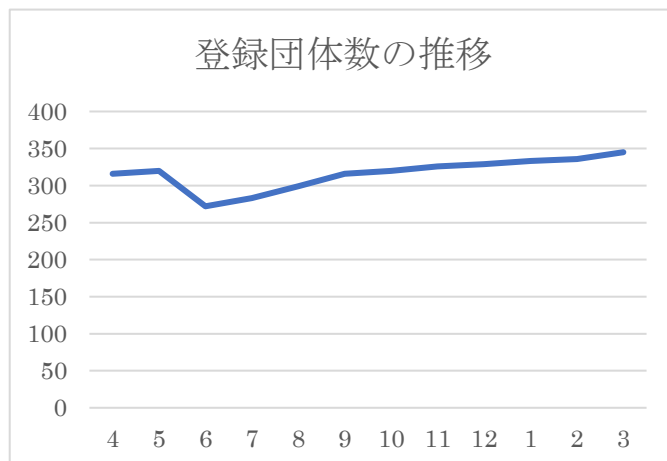
メールマガジンは基本的には購読希望申込制ですが、センター Facebook に投稿したり、センター内にプリントアウトしたものを掲示して、一人でも多くの方の目に触れる機会を作り、ひきつづき読者をどう広げていくか、SNS を活用しながら情報手段として知名度を上げていきたいと考えます。

(3) 八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の登録・保守および活性化

1) 団体登録と管理

登録団体 (2024.4.1～2025.3.30)

- 登録団体数： 345 団体
- 非表示団体： 239 団体
- 新規登録団体： 59 団体
- 登録抹消団体： 5 団体
- 再表示団体： 33 団体



2) はちコミねっと

①公開件数 (2024.4.1～2025.3.31)

- お知らせ 60 件
- イベント講座 443 件
- 仲間募集 25 件
- 活動レポート 336 件
- ブログ 77 件
- 助成金情報 127 件

②講習 (2024.4.1～2025.3.31)

- 基本講習会 (月 1 回) 20 名
- 個別講習 (月 3 回) 22 名
- 個別講習 (随時) 64 名
- 電話、メールによる講習 多数

③トラブル対応 (システム上のトラブル)

- 統括アカウントを登録してもワークフローに含まれない件
バッチ処理でも全ては改善されなかった。(新規管理者)
- 新登録団体のプロフィールが表示されない件
テーマ設定のデフォルトが設定されない。手動で設定。現在平均 20 分程度かかる。
- 団体一覧で全団体が見れない件
サイト統括権限だけを持つユーザーが正常に動作しない。
- 公開予定の記事が「404NotFound」となる件
二つの問題が確認。
 - 公開予約で公開時間になっても公開されない。
 - 一覧には表示されるが、クリックすると「404NotFound」
- 一部管理者に元気 365 からメールが届かない。
事象が発生した際には都度連絡し、エラーカウンタのリセットをしていただく。

④アルファサードへ事業譲渡に向けての準備

⑤「はちコミねっと」デモ動画を HP に埋め込み (11 月、12 月)

3) ホームページ

①会議室予約システム

- ・団体用利用に向けての準備と調整（4月）
- ・団体用 2コマ同時申込機能追加（5月）
- ・団体用 利用開始（8/15）
- ・団体用 当日キャンセル OK に修正（10月）
- ・2024年8月以降（8/15 利用開始～3/31）

予約実績： 全予約数 860 件、システム利用数 300 件、
操作団体数 62 団体、システム利用率 34.9%

キャンセル実績： 全キャンセル数 132 件、システム利用数 57 件、
操作団体数 16 団体、システム利用率 43.2%

②情報の追加・修正・整理

③五大システムとの打ち合わせ

④NPO 八王子会議発表での準備 新チラシ作成

4) 登録時確認事項の追加及び登録内容確認（※宣誓）

- ・メールでお知らせ 「はちコミねっと」のメルマガ発信機能を利用
4/2 フォームでの回答を依頼
- ・広報紙に同封して発送（4月末）※締切 6/30
- ・未提出団体を「はちコミねっと」上で非公開へ（7月）※登録の状態でない

4. 市民活動に係る啓発及び人材育成に関する事業

団体の基盤、信頼性、広報力等を強化する事業及び、市民活動紹介や啓発となる事業活動を進めています。

（1）パワーアップ講座 〈6回〉 各 15 団体（30 名）程度

◆方針：市民活動団体がスキルアップする連続的な講座を行なう。また、参加団体同士の交流の場となるような開催形式にも配慮する。

今年度は団体からのニーズも高い、①「団体の立ち上げ～解散まで」②「団体の上手な運営」③「課題解決の手法」④「活動資金を得る」⑤「団体の信用を得る」⑥「連携とプロボノ活用」の6つのテーマをとりあげた。

◆ 実績：下記内容で全 6 回の開催が完了した

No.	開催日	テーマ / サブテーマ	講師	参加団体数 参加者
1	2024/ 8/23	NPO の一生 市民活動団体の立ち上げ（設立）・ 継続と終了のために大切なこと	東京ボランティア・市民活動 センター 森玲子さん	7 団体 16 名
2	9/20	NPO のマネジメント NPO を上手にマネジメントする方法	（公財）東京都つながり創生財団 東樹康雅さん	9 団体 20 名

3	10/18	NPO の課題解決 問題解決の手法～ビジョン・ミッションの確認を通して～	(一社)サステナブルコミュニティ 共創機構 代表理事横山奏治さん	9 団体 19 名
4	11/14	資金を集める 団体の資金作り アピールする助成金申請書の書き方	町田市地域活動サポートオフィス 事務局長 喜田亮子さん	12 団体 19 名
5	12/20	団体の信用を得る 組織評価のすすめ・非営利組織が社会から支援を受けるために	(公財)日本非営利組織評価センター 瀬上 倫弘さん 浦邊 智紀さん	12 団体 20 名
6	2025/ 1/17	連携による NPO 強化 プロボノ活用と他団体との連携	八王子市市民活動支援センター プロボノワーカー 小林広和さん	10 団体 18 名

場 所：クリエイトホール 10F 第2学習室

時 間：14：00～16：30 （受付 13：30～）

参加費：1 回 1,000 円（1 団体 2 名まで受講可）6 回一括申込は 5,000 円

1) 8/23 NPO の一生～団体の立ち上げに大切な事、団体継続のために大切な事、団体終了のために大切な事～

講師：東京ボランティア・市民活動センター 森玲子さん

NPO とは何なのか？から始まり、団体を立ち上げるときに必要なこと・団体の運営を継続するために必要なこと、そして、「NPO の終活」についても講義を受けた。法人も任意団体も「終わりについて考えておく」ことの重要性を認識した。

アンケート：とても良い 93%、まあ良い 7%

コメント抜粋：

- NPO の全体が良く理解できた
- 「NPO はお金ではない、モチベーションでつながるので信頼関係が大事」という言葉に納得
- NPO の設立から継続、解散まで非常にわかり易く大変良い講座であった
- 資料も良かった

2) 9/20 NPO のマネジメント NPO を上手にマネジメントする方法

講師：（公財）東京都つながり創生財団 共助推進課地域活動支援担当 東樹康雅さん

組織づくりについての講義のあと、グループごとにワークショップを行い、「遊びのある組織」「自分たちの目指す組織」について発表した。

アンケート：とても良い 67%、まあ良い 27%、やや不満 7%

コメント抜粋：

- 「思いのたなおろし」による目的の定期的な確認によって団体の方向性を仲間と共有していきたい

- ・ミッションを自分の言葉で話せるようになることが大事だと思った
- ・組織においてミッションの重要性を再認識できた
- ・想いを表現をする場として自己紹介シートを使うこと、思いの棚卸しをすることの大切さを実感した

3) 10/18 NPO の課題解決 問題解決の手法～ビジョン・ミッションの確認を通して～

講師：一般社団法人サステナブル コミュニティ共創機構 代表理事 横山 泰治さん
グループワークを通じて、自分たちの活動がどの立ち位置にあるのかを確認し、自分事としてとらえ、課題をどう解決するかを考えることでビジョン・ミッションにつながる軸を明確にした。

アンケート：とても良い 43%、まあ良い 29%、普通 21%、やや不満 7%

コメント抜粋：

- ・問題解決に決め事ではなく、一つ一つ解決していくことが大切、がわかった。
- ・考え方の方向性について大切なポイントはわかった気がします。ただ、すべてが解がなさすぎるのも難しいかなと思いました。
- ・自分たちのミッション・ビジョンを考え直すキッカケになりました。

4) 11/14 資金を集める 団体の資金作り アピールする助成金申請書の書き方

講師：町田市地域活動サポートオフィス 事務局長 喜田亮子さん

前半は講義で、何のために資金を集めるのか、という根本的なことから、助成金の審査をする側を説得できる申請書づくりというより具体的な考え方を学び、後半のワークでは自団体の活動を構造的に整理し他団体の人に話すという、説得力のある説明の練習をした。

アンケート：とても良い 88%、まあ良い 12%

コメント抜粋：

- ・資金集めの方法がいろいろあって、そのメリットデメリットもわかりやすく教えていただき勉強になりました
- ・今活動しているサークルの目的、目標、課題を再認識する良い機会でした。助成金については今まで考えたことがなかったのでこれからです。他の団体の内容も知ることができて参考になった。
- ・ただ資金を集めればいい、ということではなく、その時期、目的によって、集め方がかわってくるということで作戦をしっかり練ることが大切と思いました。
- ・資金を集めることは、活動を設計することと同義だと感じました。

5) 12/20 団体の信用を得る 組織評価のすすめ～非営利組織が社会から支援を受けるために

講師：公益財団法人日本非営利組織評価センター 瀬上倫弘さん 浦邊智紀さん

NPO にとって、共感してもらう・信頼してもらうことの大切さを講義で学び、個別のチェックシートで自団体が組織評価の基準をクリアしているかチェックをするワークを行った。

・アンケート：とても良い 57%、まあ良い 43%

コメント抜粋：

- ・「信用」というあいまいなイメージの言葉が、具体的に取組んで獲得すべきものとして考えられるようになりました。

- ・共感を得るために細かい事項の確認が必要だと改めて実感しました。
- ・まずは自分の団体について知らなければならない事ばかりだという事がわかりました。
- ・団体の信用を得ることについて、あらためて勉強した。信用、信頼の重さをあらためて考えさせられた。

6) 1/17 連携によるNPO強化 プロボノ活用と他団体との連携

講師：八王子市市民活動支援センター プロボノワーカー 小林広和さん

プロボノについての説明のあと、プロボノとの連携・他団体との連携・行政との連携について事例の紹介があった。

それぞれ、事例を聞いてどう思ったか？を発表したり、どのようなプロボノ・団体と連携したか？を考えるワークの時間が多かった。

- ・アンケート：とても良い80%、まあ良い13%、やや不満7%

コメント抜粋：

- ・周りの方との共同ワークなどが、テーマに合っていて良かったです。
- ・「プロボノ」を雲の上の事だと思いましたが、私もプロボノしてた！とハット気がつきました。
- ・プロボノワーカーと初めに確認すべき約束ごと、共感をしてもらうことの大切さなど今後依頼をする時に役立つことが学べました。

【評価と課題】

*受講者について

- ・第1回の内容がすべての基本となる内容だったのに、参加者が一番少ない結果となってしまった。
- ・内容により単回のお申込みが集中することがあった。単回のお申込みの時に、他の回の内容とこの講座の連続性をご案内し、複数回受講を促すべきであった。

*講座準備について

- ・テキストのページ数が講師によってまちまちであり、講座としての統一性がなかった。
- ・受講者からの指摘もあったように、ワークでは模造紙を念のために用意するなどの配慮が足りなかった。
- ・第2学習室に入ってから受付開始時間まで30分しかないので、机の移動に手間取るとバタバタしてしまった。
- ・席割はこちらでグループをあらかじめ決めたが、毎回ごとにシャッフルするなどしてメンバーを変えたほうが、団体同士の交流につながったかもしれない。シャッフルが中途半端になってしまった。
- ・受講生からの要望があり団体のチラシを置く場所を設けたのは、団体同士の交流の助けになったので申し出がありがたかった。

*運営について

- ・当日のスケジュールを提示しておけば、休憩をいつとるのがわかってよかったと思う。また、アンケートに答えていただくことや、集合写真のことも事前にスケジュール化しておいたほうがよかった。

(2) アクティブ市民塾 〈6 回〉 各 10～30 名

◆方針：市民活動団体が講師となり、実演等も交えながら活動紹介する。参加した市民の活動の動機になったり交流の場とする。

◆実績：下記内容で全 6 回の開催が完了した

No.	開催日	テーマ / 講師団体	会場	参加者数	担当
1	2024/ 5/22	お腹と心があったまる場所 子ども食堂カフェ北野に行こう	子ども食堂カフェ 北野	15 名	カ石
2	7/18	八王子で多文化共生社会の実現を目指して NPO 法人八王子国際協会の活動を知ろう	学園都市センター	18 名	カ石
3	8/18	八王子の農地を守る NPO 法人すずしろ 22 の取り組みを知ろう	番場農園	27 名	カ石
4	11/30	しめ飾り講習会 わら細工の会 円座	クリエイトホール	20 名	森
5	2025/ 1/21	ゆる〜い空手で楽しく健康増進 ゆるからの会	クリエイトホール	11 名	森
6	3/4	学ぶ！遊ぶ！伝承玩具で心も身体も 活性化 八王子アクティビティ 研究会	市民活動支援セン ター	11 名	森

1) 5/22 子ども食堂カフェ北野に行こう（参加者 15 名）

- ・子ども食堂カフェ北野を訪ね、活動内容を紹介した。子ども食堂カフェ北野の活動に対し参加者の関心も高く、講座中も多くの質問が寄せられ、終了後、カフェタイムでも話が続いた。
- ・アンケート：とても良い 92%、良い 8% 団体を知らなかった方：15%

コメントの抜粋：

- ・最近子ども食堂をはじめて、カフェ北野の話を伺い、アドバイスもいただき、とてもありがたかった。
- ・ボランティアさせていたきたい。
- ・他の地域にも同じ取り組みがほしい。

【評価と課題】

「子ども食堂カフェ北野」を取り上げた理由は

- ① 地域に根付いた活動で、地域ボランティアが大勢いる取り組みを、既に子ども食堂をやっているところやこれからやってみたい方、地域との連携が上手くできていない団体にも参考になる
- ② 子ども食堂に興味がある・気になる一般市民に実際にやっている団体の事例を紹介する
- ③ 子ども食堂カフェ北野から地域外の方々や団体とも連携したいと相談を受けたため。

結果として、数団体や活動に興味がある方々が参加し、団体コラボ企画 3 つがその後実施され、

課題を持つ子ども食堂の方がアドバイスをいただき、その後活動に活かし、活動に興味があった 2 名がボランティアとして登録し、活動をはじめたことの報告を後日にいただき、良い成果を出すことができ良かった。

2) 7/18NPO 法人八王子国際協会の活動を知ろう(参加者 18 名)

18 名が参加し、うち学生 2 名。20 代から 70 代の方々が参加し、多世代の交流にもなった。

- ・アンケート：とても良い 93%、 良い 7%、 団体を知らなかった：27%

コメントの抜粋：

- ・ハードルが高い内容と思ったが、分かりやすくて良かった。
- ・知らないことがいっぱいあって、勉強になった。

【評価と課題】

「NPO 法人八王子国際協会」は実績のある NPO 法人ですが、会員数や実行委員会に参加する方々が減少し、周知が思うようにいかないと相談を受け、国際分野で活動されている団体として紹介した。普段参加されない学生や若い女性の方々が参加し、八王子国際協会を知らない人が多く、参加者のうち 4 名がアクティブ市民塾直後に会員に登録されたことが大きな成果だった。但し、団体の都合で平日の午後に実施し、多くの方が参加できなかったのは残念だった。

3) 8/18NPO 法人すずしろ 22 の取り組みを知ろう(参加者 27 名)

- ・NPO 法人すずしろ 22 の活動紹介と番場農園の紹介後、ブルーベリー摘み取り援農体験をした。

- ・アンケート：満足度 100% 団体を知らなかった方：79%

コメントの抜粋：

- ・すずしろ 22 と番場農園の PR のため一緒にイベントをやりたい。
- ・来年知り合いと手伝いに行きたいと思います。

【評価と課題】

「NPO 法人すずしろ 22」が農地を農地として守り、農家のサポートも行っているが、会員が高齢化し、メンバー不足で悩んでいることを伺い、活動の紹介をすることとなった。恩方にある番場農園は、毎年、八王子市内の給食のためブルーベリーを育て、収穫しているが人手不足で今回この企画をさせていただいた。八王子市内の農家の現状、農地を守っているすずしろ 22 の活動内容と取り組み、恩方地区の農地の現状と取り組みを紹介していただき、とても勉強になった。申込数は定員の倍以上で、急遽、別の日に数名の方を入れていただくこととなった。番場農園のボランティアに申しこんでいただいた方、すずしろ 22 の活動に興味があり、別の日に訪ねた方々、ボランティアになっていただいた方もいて、活動を紹介して良かった。

ブルーベリー摘み取り援農体験でブルーベリーがもらえるためだけに参加されることを心配していたが、当日参加された方々のほとんどは活動や農園に興味があり、市外からの参加者数名もいた。周知に困っていると聞いて、手伝いたい参加者もいて、次につながった。

思った以上に参加申込があり、事務処理と調整が大変だった。また、交通面で少々不便である恩方地区での開催で、ほとんどの方はバスで行くことを希望し、1 時間 1 本しかないバスに乗るための待ち合わせ、書類の印刷の準備や持ち込みもいつもより大変だったが、やりがいがあった。

4) 11/30 しめ飾り講習会(参加者 20 名)

わらの紬い方、御幣の作り方を学び、翌年の干支である蛇を題材としたしめ飾りを制作した。

アンケート集計：とても良い 75% やや不満 5% 無回答 10%

コメントの抜粋

- ・わらに触れることがないのでとても新鮮な気持ちでいられました

【評価と課題】

季節的に合っていたのでキャンセル待ちがでるほど申込みがあった。

受講生の満足度は高かったが、アクティブ市民塾としては、団体の紹介や思いを伝える時間を設けなかったことで、「楽しかった」という感想のみになってしまったのが残念だった。

5) 1/21 ゆる〜い空手で楽しく健康増進(参加者 11 名)

準備体操の後、空手の動きを取り入れたゆるい運動をした。新聞割りでは力の集中を学んだ。

アンケート集計：とても良い 82% まあ良い 18%

- ・楽しかった。筋トレ、ストレッチについてよく理解できた

【評価と課題】

講師団体との連絡を密にできていなかった。団体を不安にさせてしまった。

受講生の年齢層がシニアであり、腰を痛めた人も参加していたが、無理なくゆっくり運動する「ゆるから」の意図に合っていた。腰を痛めていた参加者が、最後は楽になったと喜んでお帰りになった。

6) 3/4 学ぶ！遊ぶ！伝承玩具で心も身体も活性化(参加者 11 名)

様々な伝承玩具の紹介と色や形に込められた祈りや願いについて学び、独楽の絵付をした。

アンケート集計：とても良い 100%

【評価と課題】

受講生がなかなか集まらなかったが、町会などで呼びかけてもらって、結果的には講座の目的に合った受講生に参加してもらえた。

おもちゃで遊ぶための動作（例えば独楽を回すための、つまむ力）が、実は日常生活に必要な重要な力なのだという話しが、シニア中心の受講生に合っていた。

(3) 支援講座 〈8 回〉 各 7 名～16 名

◆方針： NPO や市民活動団体向けに、市民活動の支援となる講座を行なう。

すぐに役立つちょっと支援講座をセンター職員が講師となって少人数対象で行う

No.	開催日	テーマ	講師	会場	参加者数
1	2024/ 4/28	支援センターを徹底的に活用しよう ～センターのこんな使い方教えます	濱野	支援 センター	13 名
2	6/1	手書きでチラシ ～パソコンなくても伝わるチラシ	鈴木	支援 センター	14 名
3	8/2	イベントやセミナーでの空間デザイン ～効果的な机の配置やバナーの作り方～	森	支援 センター	6 名

4	9/15	ゆめおりファンドを活用しよう	小林	支援センター	7名
5	10/26	Google ドライブを活用しよう ～団体内の情報共有	上野・望月	支援センター	7名
6	2025 1/26	市民活動をひろめる動画を スマホで作って公開しよう！	濱野	支援センター	16名

【評価と課題】

1) 支援センターを徹底的に活用しよう

この講座は、八王子市市民活動支援センターの機材活用ノウハウを伝えるもので、印刷機やコピー機、シルクスクリーン印刷機などの機材の活用方法を学ぶことを目的としていました。アンケートの結果、回答者の87.5%が講座に「とても良い」と評価しており、実践的な内容に関心が持たれ、楽しみながら参加できたという声が寄せられました。内容についても、75%が「よくわかった」と回答しています。全体として、機材の活用方法に関する知識やノウハウの習得に役立つ、満足度の高い講座であったと言えるでしょう。

2) 手書きでチラシ

市民活動のイベントなどで必要になるチラシをパソコンを使わなくても出来る方法をご紹介します。A4 チラシに掲載する必要事項を表に書き出し、項目毎にコピーしたものを切って張り込み、白黒の原稿を作成しました。班ごとに助け合いワークショップの様に楽しく開催出来ました。

・アンケート：とても良い58%、 良い42%

3) イベントやセミナーでの空間デザイン

まず参加者の自己紹介、講師の自己紹介のあと約1時間の講義を行った。5分の休憩後、各自でNPO フェスティバルか架空の展示会における展示の企画を考えた。のちに構成力を養うための課題を行った。

・アンケート：とても良い58%、 良い42%

4) ゆめおりファンドを活用しよう

・講座参加者同士で継続的な繋がりを持ちたい、情報交換や交流をしたいという機運が高まりました。

・講師の話を手早く切り上げ、ワークの時間を多めに配分したことで満足度が高まりました。

・団体運営者は孤独です。話を聞いてほしい、相談にのってほしい、助言が欲しい、仲間が欲しいと常々思っているような気がしました。このニーズに答えられるようになるとさらに満足度が上がるような気がしました。

・アンケート：とても良い100%

5) Google ドライブを活用しよう

基本の使い方、ファイルの共有および共同編集について、説明と実習を行った。

アンケートの回答結果より概ね満足だったと思われるが、既に Google ドライブを利用している方も多く、その方々にとっては少し物足りない感があったと思われる一方、全く初めての方

にとってはもう少し初歩的な説明が必要だったと思われます。

共同編集の実習において、共有されたファイルを画面に表示したまま皆で書き込みを行い、リアルタイムに更新されるさまを実感できたことも、参加者の満足につながったと思われる。

・アンケート：とても良い57.1%、良い42.9%

6) 市民活動をひろめる動画をスマホで作って公開しよう！

動画はPCでの編集するほうがさまざまな機能があるが、素材の取り込むやダウンロード時の登録等の事前準備（環境本講座「動画撮影・編集・公開」は、地域活動や所属団体の広報、個人の趣味などを目的とした参加者に対し、スマートフォンアプリ VLLLO を用いた基本的な動画編集を教えるものでした。参加者の多くは初心者でしたが、講座内容に高い満足度を示し、理解できたと回答しています。特に、動画の作成方法だけでなく広報的な視点からの説明や、前回と異なるテクニックの話が好評でした。参加者はチラシから情報を得た方が多く、今後のステップアップ講座やPC版の開催、作成した動画へのフィードバックを希望しています。講座を通じて、参加者が動画作成を広報活動のきっかけにしたいという意欲が見られました。

・アンケート：とても良い75%、良い25%

（４）実践講座 <1回>

◆ 方針： 市民向けに、NPOや市民活動の普及や啓発となるような講座を行なう。

No.	開催日	テーマ / 講師	会場	参加者	担当
1	7/28 (土) 14:00~ 16:30	いまさら聞けない地域温暖化 ～これから間に合う私たちの取り組み～ 講師 大竹 邦江 中央地区環境市民会議代表 八王子市地球温暖化防止活動推進員 田所 喬 クールセンター八王子センター長	学園都市 センター11F ギャラリーホール	14名	岡崎

・ 内容：前半は「どうして地球温暖化が起こっているのか」「地球温暖化が進むとどうなるのか」を楽しくわかりやすくクイズを交えて説明してもらい、後半は環境マークについて学ぶゲームなどを通じて、これからでも私たちが地球温暖化防止のためにできることを考えるワークショップを行った。

・ 感想：私たちでもできる取り組みをわかりやすく話していただいて良かった。

子ども達にこそ受けてもらいたかった。今度は孫を連れてきます。

地球温暖化防止について認識が新たになった。

【評価と課題】

実践講座は市民が市民活動の実践につながるようにとの目的で行ってきたが、若い世代にも市民活動に参画してほしいとの思いから、ここ数年は小中高生も参加しやすい内容として、夏休みスケジュールに掲載してもらうために夏休み中に設定しているが、小中高生の参加を増やすのは苦戦を強いられている。

引き続き、若い世代の市民活動参加は広げていきたいが、時期や時間を変えて行うことも検討したい。

5. ゆめおりファンド事業

(1) 団体情報開示支援

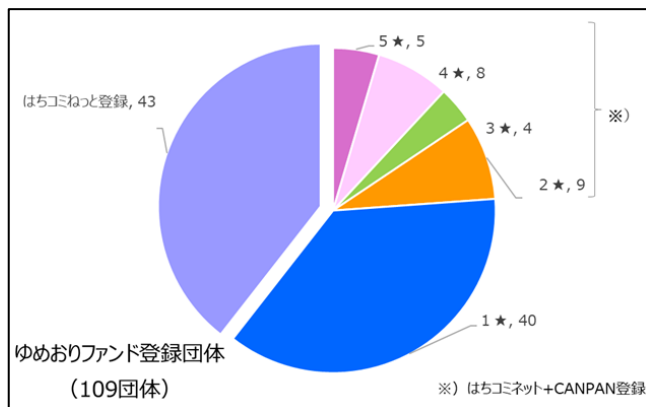
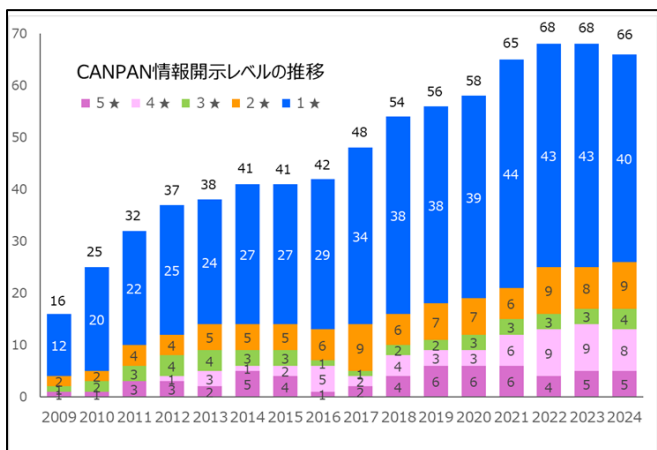
1) ゆめおりファンド登録方法の変更

「ゆめおりファンド」は、企業・大学等からご寄付頂いた善意の物品を、団体に提供する橋渡し役をしています。寄付者は、自ら積極的に情報を開示し、健全な運営を行っている団体にこそ、安心して寄付したいと考えています。「ゆめおりファンド」は、情報を開示し、常に最新の情報に更新していることが寄付者からの信頼につながると考え、日本財団が運営する公益事業コミュニティサイト CANPAN への登録を利用条件としてきました。

CANPAN は情報開示の内容に応じ、1★～5★まで5つの情報開示レベルを設けています。当初は、3★以上の団体を支援することでスタートしました。しかし、スタートアップ団体等の運営基盤が未確立の団体こそ支援が必要ではないかと考え、1★団体に対しても支援するなど、ダブルスタンダード的な運営を行ってきました。2021 年からは実情に合わせ、1★団体も支援できるよう利用条件を見直しました。

次ページのグラフは、「ゆめおりファンド」登録団体の情報開示レベルの推移です。トータルで見れば 2009 年に 16 団体だったのが 2024 年は 66 団体増加しています。3★以上の「ゆめおり認証マーク添付団体」は 2009 年に 3 団体でしたが 2024 年は 17 団体と増加しています。「はちコミねっと」登録団体が 345 団体（3月末）であることからすればもう少しあっていいのでは思います。「ゆめおりファンド」のPRが行き届かず、本当に支援を必要としている団体が支援の圏外にいるのではと気になるところです。「ゆめおりファンド」は、これらスタートアップ団体が自立・自律できる役に立ちたいと考えています。そこで、スタートアップ団体に「ゆめおりファンド」を知っていただき、利用していただくために、情報グループと連携し「はちコミねっと」登録の条件の中に 1★レベルと同等の項目を追加しました。これにより「はちコミネット」登録団体で「ゆめおりファンド」登録を希望する団体は簡単な手続きで登録でき、「ゆめおりファンド」を利用できるようになりました。

その結果、2025 年度は CANPAN 既登録 66 団体に「ゆめおりファンド」登録希望 43 団体を加えた 109 団体が「ゆめおりファンド」登録団体となりました。



【課題と評価】

既登録 66 団体の CANPAN 更新状況は、直近 3 年に更新している団体は 28 団体ですが、38 団体は 3 年以前に登録・更新したままとなっており最新の情報とはいえません。

これを少しでも改善しようと、CANPAN 登録・更新説明会を企画しましたが、参加団体は僅かでした。その理由として、

- ・新規登録：面倒。難しい。時間がない。
- ・更新：自立・自律している。必要な物品はない等、支援を必要としなくなった。

NPO 法人は事業報告書の作成・報告義務があり、常に最新の情報開示をしている。

CANPAN 登録は二重の負担になる。

などがあげられます。これらにより CANPAN 登録・更新は難しい状況にありました。しかし、今回「はちコミねっと」と連携することにより、

- ・「はちコミねっと」は、登録条件が 1★と同等であり、CANPAN 登録を支援の条件とする必要はなくなった。
- ・「はちコミねっと」は、毎年登録更新が必要であり、最新情報が開示されることができるようになった。

今後は、次の施策を通じて登録団体を再編したいと考えています。

- ・スタートアップ団体に利用を呼びかける。
- ・既登録団体に登録継続の有無を確認する。

登録団体数が増えることは歓迎ですが、提供できる物品には限りがあり、提供に際しては公平性・緊急性等バランスをとれるよう試行錯誤していきたいと考えています。

市民活動の情報サイトである CANPAN は助成金支援団体や団体が助成金情報を得るためのプラットフォームです。今後も、CANPAN 登録の推奨、3★以上の取得と「ゆめおり認証マーク」の添付ができるよう支援していきます。

(2) 物品の支援

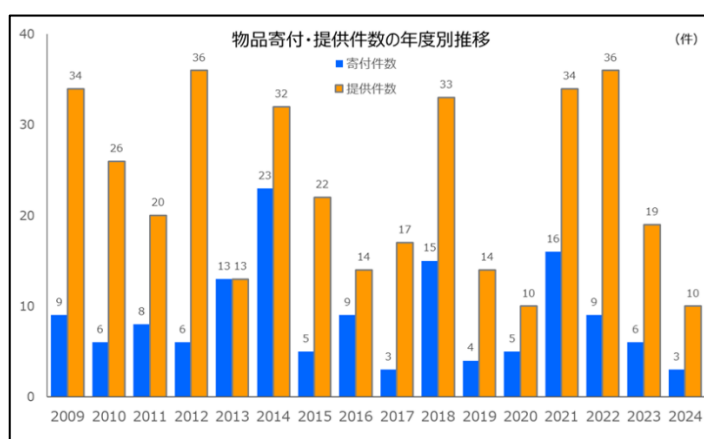
1) 全般

次のグラフにあるように、寄付件数は、3 件と 2017 年と同じく少ない年でした。寄付は少ないと予測されていたことから、協働推進課と産業振興推進課とが連携して八王子商工会議所と一緒に訪問することができました。提供件数は、9 件でした。

今後は、物品ニーズをできるだけ明確化し CSR に関心ある企業、地域貢献したい企業を探し、訪問し、関係性にも配慮しながら、

次の物品寄付につなげていきたいと思ひます。地元企業・商店などとの橋渡し役である八王子商工会議所の更なる理解と協力もお願いしていきたいと思ひます。

また、物品寄付については、寄付の日時を推し量ることはできないので、企業訪問を積み重ね、企業



関係者に「ゆめおりファンド」を知ってもらうことが先と考えています。今、ここで寄付できる物品はないが、数か月、数年先には寄付に繋がる可能性を高めておきたいと考えています。いつか思い出していただき、寄付といった形で実を結ぶ「種蒔き」を進めていきたいと思います。

2) 寄付物品

ご寄付頂いた物品は右表の通りです。

- ・八王子商工会議所：事務室什器、文具
- ・ジャノメ(株)：カレンダー、手帳
- ・協働推進課：金属製レターボックス

3) 提供物品

次の団体に物品を提供いたしました。

- ・NPO 法人あゆみ：ホワイトボード、レターケース、エレクトーシェルフ、コートハンガー、ホッチキス、2穴パンチ、A3用紙、緊急用毛布、ゴミ箱
- ・NPO 法人八王子市民活動協議会：テーブル・チェアセット
- ・緑サポート（八大緑友会）：校正管理棚
- ・いちよう祭り祭典委員会：書庫、鋼製管理棚
- ・ハナミズキ広場：テーブル・チェアセット、コピー用紙、ホッチキス、千枚通し、傘
- ・団体・市民：カレンダー、手帳
- ・NPO 法人八王子市民活動協議会：傾斜付ディスクラック

4) 活用報告

提供団体からいただいたお礼と活用報告を、寄付いただいた企業・団体にお伝えしました。「この度はご報告いただきありがとうございます。寄贈商品が有益にご活用いただけているようで、弊社としても大変喜ばしく思います。」とのことでした。

分類	数量	内容
事務用品・文房具	26	レターケース、ファイルスタンド、2穴パンチ、テーブルカッター、卓上計算機、ホッチキス、スタンプ台、
収納家具・用品	2	傾斜付収納ラック
テーブル	1	サイドワゴン
その他	多	2025カレンダー・手帳

【課題と評価】

例年に比べ、寄付件数が少ない年でした。少ないと予測できた時点で、実績ある企業に寄付をお願いしましたが、実を結びませんでした。その一方、協働推進課と産業振興推進課との連携で八王子商工会議所を訪問した結果、即、寄付をいただきました。企業を訪問し、「ゆめおりファンド」を理解し、支援してもらうことが大切と実感した年でした。

今後は、市内に事業場がある企業に加えて、八王子商工会議所の支援をいただきながら地元企業へと訪問先を広げていきたいと考えます。

(3) 人財の支援

1) センター1日出張参加

5/9 9/14 プロボノ紹介

2) 対外活動

- ・6/1 八王子FM に出演（小林）プロボノについて説明
 - ・10/27 志民塾にて プロボノ・伴走支援プレゼン実施
- 13期生1名より伴走支援対応の申し出あり

3) プロボノ・伴走支援 相談

- 5/9 ほっとりんく プロボノ相談（1日出張にて）
7月 伴走支援を協議会理事につなぐ 結果：辞退
- 6月 パフォーマンス集団ヨロコンデ 伴走支援相談
7月 再度相談
12月 志民塾 13期生と伴走支援相談 結果：辞退
- 9月 NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会 プロボノ相談 結果：辞退
- 9月 シニアクラブゆうゆう プロボノ相談 結果：辞退
- 10/10 まつまる プロボノ相談（堤）
- 12/26 Smile Again プロボノ相談（小林）zoom
2/18 ちょこっとプロボノ実施（大塚）

4) プロボノワーカーの交流

- 3/9 プロボノ交流会 支援センター交流スペース
参加者：6名（登録ワーカー40名に案内を送信）
登録済のワーカーさんにも改めて登録用紙を提出してもらう
- 3月 サークルスクエアの使用を検討開始
プロボノ相談の前捌きのため

5) 支援センター事業の他講座との連携

- 9/15 支援講座 「プロボノ活用講座」 支援センター 交流スペース
参加人数 6団体6名 ワーカー1名
アンケート結果 良い 100%
ワーカー登録 1名
- 10/1・10/8 回想法研修参加（小林、大塚）
- 3/27 回想法の連携視察（簗野）
思い出トークカフェ ROKUMARU in まつまる
- 1/17 パワーアップ講座第6回「連携によるNPO強化」クリエイトホール
参加人数：10団体 18名
アンケート結果：とても良い 80% 良い 13% やや不満 7%
- 2月 パワーアップ講座のフォロー
団体連携希望3団体と個別相談（小林）
 - ボランティアゴルフアース連盟
 - アスキップ
 - 一般社団法人まもりすくん

【課題と評価】

今年度の人財支援はプロボノ活用に軸足を置きました。プロボノを活用するためのハードルをこれまでよりも下げ、プロボノを活用しやすい状態を作った結果、団体から8回の活用相談がありました。しかしながらプロボノ活用に至った団体はありませんでした。

団体の思いをプロボノワーカーに伝えられるようになること、そしてプロボノワーカーは団体の思

いに共感し思いを持って団体を支援できるようになること、これらが課題です。

一方、プロボノワーカーの状況ですが、市民活動支援センターに登録済のプロボノワーカーの人数は2024年時点で41名でした。2025年2月にプロボノ交流会の開催案内をお送りしたところお返しいただけたのは7名でした。これは、プロボノ登録者はいるものの、実際に団体のニーズと繋ぐことができなかったことが原因と考えられます。プロボノワーカーと団体ニーズをマッチングするのが課題です。プロボノ交流会では課題解決に向けた大きな手がかりを得ることができました。団体とプロボノワーカーとそれを仲介するコーディネーター（有志）が集う場を作り運営することが決まりました。団体もプロボノワーカーもコーディネーターも全て市民の「市民協働型プロボノ活動」にチャレンジします。市民活動支援センターはこの取り組みを支援します。

6. 調査研究活動

（１）施設利用者満足度調査

令和6年度も施設利用満足度調査を令和6年12月に行いました。集計結果は公開情報としてPDFファイルにし、支援センターホームページからダウンロードができるように設置しています。

スタッフについての対応などの満足度については「満足」と「やや満足」を合わせて99.6%（前年は99.7%）であり、ほぼすべての来所者が満足と答えています。また自由意見では、「明るい挨拶」、「親切」、「丁寧」という言葉があり、スタッフの運営姿勢が好評価を得ている結果だと思われます。センター全体の満足度は98.8%（昨年99.3%）であり、これもほぼすべての人が満足と感じていることがわかります。

詳細は別紙添付の「利用者満足度調査報告書」を参照ください。

【課題と評価】

満足度調査の結果、利用者の皆様からは概ね肯定的な評価をいただいております。特に、駅からのアクセスの良さやスタッフの丁寧な対応、快適な会議室環境などが高く評価されています。一方で、いくつかの改善点も指摘されました。まず、施設の認知度向上に関する要望が多く、特に若年層へのPR強化やSNSを活用した情報発信などが求められています。また、会議室の予約が取りにくいという意見や、少人数で利用できる部屋の不足も指摘されています。さらに、施設の有効活用に関する提案も寄せられました。また、予約システムの変更に伴う高齢者への配慮や、時間管理に関する要望など、利用者の多様なニーズへの対応も課題として挙げられています。これらの意見を踏まえ、八王子市市民活動支援センターは、より多くの市民が利用しやすい施設となるよう、様々な取り組みを進めていく必要があります。

7. 市民活動に係る相談に関する事業

（１）相談対応及び専門相談

相談記録を見てみると、地域における市民活動の多様なニーズが覗え、それに応える重要な役割が市民活動支援センターに求められていることがわかります。

【評価と課題】

評価できること

①相談件数の多さと多様な相談内容

令和 6 年度（2024 年度）の 4 月から令和 7 年（2025 年）3 月にかけて、年間 183 件の相談がありました。市民活動団体だけでなく、活動を始めたい個人、企業、行政など、多様な主体からの相談に対応し、相談内容も、団体の設立・運営、広報、資金調達、連携、情報収集、イベント企画、NPO 法人設立・運営に関する専門的な相談など、多岐にわたっています。

②積極的な情報提供と「はちコミねっと」の活用

多くの相談において、「はちコミねっと」の紹介、登録促進、情報更新方法の指導、イベント告知や仲間募集の活用方法の提案など、情報プラットフォームの積極的な活用を提案しました。これは、市民活動の活性化と情報共有に大きく貢献しています。

③多様な支援メニューの提供

単に話を聞くだけでなく、センターの機能説明、会議室利用の案内、助成金情報の提供、専門家相談の紹介、チラシやパンフレットの作成・配架支援、SNS 活用のアドバイス、団体間の連携支援、NPO 法人設立・運営に関するアドバイス、規約や申請書類の添削など、多岐にわたる支援を提供しました。

④個別ニーズに合わせた丁寧な対応

相談者の要望を丁寧に聞き取り、個々の状況や課題に応じた情報提供や具体的なアドバイスを行っています。

⑤他機関との連携

特に今年度は、例年に増して、市役所、社会福祉協議会、東京都、登記所、東京ボランティア・市民活動センター、大学、企業、他の市民活動団体など、多様な関係機関とも連携し、必要に応じて適切な窓口を紹介するなど、包括的な支援体制の構築を試みています。

⑤継続的な相談支援

一度だけでなく、複数回にわたって相談に対応し、団体の成長や課題解決に向けて継続的にサポートしています。

課題となること

①相談時間帯の偏り

相談時間帯を見ると、平日の日中や夕方の時間帯が多い傾向があります。より多くの市民が相談しやすいように、夜間や土日などの相談機会を設けることも検討していきたいと思います。

②広報手段のさらなる多様化

「はちコミねっと」は重要な広報ツールですが、パソコンやインターネットを利用しない層への情報提供も考慮し、地域情報誌への掲載や、地域イベントでのブース出展など、多様な広報手段を組み合わせていくことが必要と考えます。

③専門性の高い相談への対応

NPO 法人の設立・運営や会計処理、法律に関わる相談など、より専門的な知識や経験が求められる相談も一部あります。これらの相談に対して、必要に応じて専門家（司法書士、税理士、社会保険労務士など）との連携を強化することや、センター職員の専門知識の向上を図ることに努めていきます。

④相談記録の詳細化

相談内容によっては、「内容（相談者の要望と担当者の対応）」の記載がやや簡略な場合が反省点と

して挙げられます。より具体的な相談内容や、提供した支援の詳細、今後の課題などを記録することで、より深い分析や継続的な支援に役立つ可能性があるため、今後は記載の仕方も改良していきます。また、相談後のフォローアップの状況なども記録することで支援の効果測定にもつながることから、今後記録の詳細化を図っていきます。

⑤ニーズの掘り起こし

記録されている相談は、市民や団体が自ら支援センターにアクセスしてきたものが中心ですが、今後は、潜在的なニーズを持つ市民活動団体や、これから活動を始めたいと考えている市民へのアウトリーチを強化することで、より幅広い支援に繋がる可能性があります。交流会など他の事業やプロボノなどとの連携により、相談から課題解決までのワンステップ相談を実現できれば良いと思っています。

8. 総務関連部門

- (1) 年間を通して文書管理規定に基づき、適正な文書管理に努めました。
- (2) 施設設備の適切な管理（付帯施設・機器・物品の管理、整備）を行いました。
- (3) 支援センター内のルールに基づき、会計担当者が適切な経理処理（給与計算・コピー収入管理・物品購入）を行いました。
- (4) 労務担当者が適正なスタッフ出退勤管理を行いました。
- (5) 四半期ごとの指定管理者モニタリングにはその準備段階から、センター長、会計担当者が出席して適切な対応を行いました。
- (6) 7月と1月に開催している「地域参加支援に関する情報交換会」に参加しました。参加団体は八王子国際協会、センター元気、社会福祉協議会、シルバー人材センター、八王子市協働推進課、八王子市民活動協議会、八王子市市民活動支援センターです。
- (7) 7月と2月に開催された「8市・市民活動連絡会」に参加しました。参加者は小平市、西東京市、三鷹市、調布市、日野市、府中市、町田市、八王子市の市民活動支援センターセンター長、スタッフ、市の担当課職員です。
- (8) 大学コンソーシアム、大学、大学生との連携、交流を強化しました。令和5年度から八王子市民活動協議会が大学コンソーシアム八王子の加盟団体となったことで、多くの連携、協働が生まれました。特に NPO フェスティバルには大学コンソーシアムの学生企画事業に取り組む大学が3大学も出展し、また、多くの学生ボランティアも NPO フェスティバルを盛り上げてくれました。市民活動と大学・学生の連携、交流の強化につながりました。
- (9) 大学インターンシップ及び市内中学校職場体験の受け入れは令和6年度はありませんでした。
- (10) 東京ボランティア・市民活動センターの新任研修プログラムの一環である「現場訪問」実習の受け入れを令和6年度も行ないました。福生市、日野市、台東区、東京都の社会福祉協議会から新任スタッフの方々に八王子市市民活動支援センターの取り組みを説明し、実際に業務にも参加いただきました。
- (11) 市内のイベントへの参加・出展：令和6年度は他団体、組織のイベントへの出展はしていません。

- (12) スタッフの教育研修の実施と充実（外部研修、内部研修）：東京ボランティア・市民活動センター主催の研修や、外部団体による講座、研修会にスタッフの担当分野に合わせて参加しました。また、他市の市民活動支援センターに依頼されて、講座の講師にも派遣しました。
- (13) 市内の多様な団体やセクターとのこれまで以上の連携による新たな価値の創出（共創）：あらゆる機会を捉えて、多様な団体と繋がり、連携による価値の創出につながるよう活動しました。特に令和6年度も西部信用金庫の地域共創部の部長が来所し、連携して今後地域のために何ができるかについて意見交換をしました。

9. モニタリングへの取り組み

「協定内容の履行を確保し、市民に対して質の高いサービスの提供を実現するため」に行われているモニタリングへの取り組みは、協定事業の遂行とともに、独自計画を付加した年度事業計画の効果的推進に役立てています。評価結果はこれを真摯に受け止め、スタッフで共有し、事業運営に活かしました。

10. 企画運営会議（八王子市民活動協議会が主催）

四半期毎に1回、モニタリング結果を参照しながら企画運営会議を開催しました。効果的な事業推進を討議し、市民活動を取り巻くニーズに対応した中長期的、未来志向的視点で支援センターの運営について協議しています。

11. 情報セキュリティ委員会

個人や団体の情報を預かる支援センターは、その情報の保護管理に大きな責任があるとの認識から、支援センター個人情報保護方針に基づき、情報セキュリティ委員会を全スタッフが構成員となり設置しています。

また、監査人による監査で適正な情報管理のチェックを受けると共に、スタッフを対象にした教育研修会を実施し、法令及び八王子市指定管理者における情報セキュリティガイドライン、支援センター情報セキュリティ管理マニュアル等の遵守を徹底しました。

12. 八王子市環境マネジメントシステムへの対応

八王子市役所環境マネジメントシステムへの対応として、それぞれの部門や事業が環境配慮行動に取り組むとともに、支援センターの特性である団体活動サポートや様々な事業を通して環境マネジメントに取り組んでいます。市からの調査にも定期的に応じています。令和6年度は実践講座として「SDGs～気候変動～」を取り上げることで、環境問題についても考える機会を持ちました。